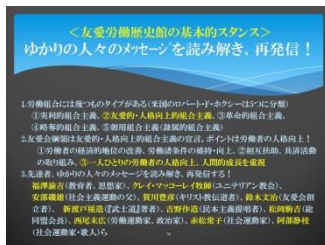




唯一館では明治31年、ユニテリアン教会の安部磯雄や村井知至らが社会主義研究会（後の社会民主党）を結成しました。また、大正元（1912）年にはユニテリアン教会職員の鈴木文治が友愛会（現在の連合）を創立しています。このため唯一館は、「日本社会主義運動、日本労働運動の発祥の地」とされているのです。



さらに紹介スライドは、「友愛労働歴史館の基本的スタンス」にも触れています。そこでは①労働組合には5つのタイプがあること（米国ロバート・F・ホクシー）、②友愛会はその中の「友愛的・人格向上的組合主義」（友愛組合）であること、③友愛会綱領第2項「識見の開発、徳性の涵養、技術の進歩」は友愛組合宣言であること、などを解説しています。

友愛組合宣言は、日本で最も新しい産業別組織・UA ゼンセン（2012年結成）綱領にも「技術を磨き、品性を高め、識見を啓発することによって、人格の向上と完成を図ります」と引き継がれています。

2. 新人研修の一環で友愛労働歴史館を利用、富士社会教育センター・連合本部・NCCU！



友愛労働歴史館は、研修室（学校形式で32名、会議形式で24名。見学に伴う利用は無料。プロジェクタ、パソコンなどを完備）を完備し、組合研修などに対応しています。このため新人研修の一環で友愛労働歴史館を定期的にご利用されているところがあります。

4月9日には（公益財団法人）富士社会教育センターが、新規採用職員2名の研修として友愛労働歴史館を利用され、研修室で当館担当者よりスライド「友愛労働歴史館と日本労働運動の100年余」を活用した解説を受けました。その後、企画展「日本野球の父、日本社会主義運動の父・安部磯雄」と常設展「日本労働運動の100年余—友愛会・総同盟（戦前）を中心とする」を見学し、日本労働運動の基本を学びました。

また、17日には連合本部の新規採用プロパー6名が、研修活動の一環として来館。最初に研修室でスライド「友愛労働歴史館と日本労働運動の100年余」を活用した解説を受け、その後、企画展と常設展を見学し、日本の労働運動の原点を学びました。

さらに23日にはUA ゼンセン・NCCU（日本介護クラフトユニオン）の3名が、新規採用職員研修の一環として当歴史館を利用されました。最初にDVD「友愛会から連合へ」を鑑賞。その後、当館担当者より解説スライド「友愛労働歴史館と日本労働運動の100年余」を活用した解説を受け、その後、企画展と常設展を見学しました。

「人間の尊厳、進歩と発達のために」



発行：友愛労働歴史館 責任者：徳田 孝蔵 担当者：間宮悠紀雄

〒105-0014 港区芝 2-20-12 友愛会館 8F Tel050-3473-5325

Eメール yuairedorekishikan@rodokaikan.org HP <http://www.yuairedorekishikan.com>

唯一館から121年、友愛会から103年